

令和7年 業種別労働災害発生状況

(令和7年1月1日～12月31日)確定

浦河労働基準監督署

浦河署管内	令和7年			前年同期			対前年		本年分	令和6年確定値			
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率	割合(%)	死亡	休業	合計	
全産業計	2()	160	162	1()	192	193	-31	-16.1%	100%	1()	192	193	
業種内訳	製造業	2()	4	6	()	9	9	-3	-33.3%	3.7%	()	9	9
	食料品	()	1	1	()	5	5	-4	-80.0%	0.6%	()	5	5
	木材木製品	()	1	1	()	1	1			0.6%	()	1	1
	家具・装備品	()	1	1	()			1		0.6%	()		
	窯業・土石	()	1	1	()			1		0.6%	()		
	金属・機器	()			()						()		
	その他	2()		2	()	3	3	-1	-33.3%	1.2%	()	3	3
	鉱業	()			()						()		
	土石採取業	()	2	2	()			2		1.2%	()		
	建設業	()	9	9	()	11	11	-2	-18.2%	5.6%	()	11	11
	土木工事業	()	3	3	()	5	5	-2	-40.0%	1.9%	()	5	5
	建築工事業	()	1	1	()	2	2	-1	-50.0%	0.6%	()	2	2
	木造建築業	()	4	4	()	2	2	2	100.0%	2.5%	()	2	2
	その他	()	1	1	()	2	2	-1	-50.0%	0.6%	()	2	2
	道路貨物運送	()	5	5	()	8	8	-3	-37.5%	3.1%	()	8	8
	その他の運輸	()			()	2	2	-2	-100.0%		()	2	2
	陸上貨物取扱	()			()	1	1	-1	-100.0%		()	1	1
	港湾荷役業	()			()						()		
	林業	()	1	1	()	5	5	-4	-80.0%	0.6%	()	5	5
	漁業	()	8	8	()	12	12	-4	-33.3%	4.9%	()	12	12
卸・小売	()	3	3	()	6	6	-3	-50.0%	1.9%	()	6	6	
清掃業	()	4	4	()	1	1	3	300.0%	2.5%	()	1	1	
畜産業	()	108	108	()	119	119	-11	-9.2%	66.7%	()	119	119	
その他の事業	()	16	16	1()	18	19	-3	-15.8%	9.9%	1()	18	19	

本統計は、労働者死傷病報告(休業4日以上)により作成したものです。

死亡災害件数の()欄は交通事故(道路交通法適用)による件数で内数。

1 労働災害発生状況について

全産業における死亡及び休業4日以上の労働災害(令和7年中に発生した災害)は162件で、前年同期と比較して31件減少しています。

令和8年3月に新たに把握した令和7年中に発生した災害は3件で、業種別では、畜産業2件、その他の事業1件です。事故の型別では2メートル以上からの転倒(滑り)1件、激突され1件、動作の反動、無理な動作(転倒もどき)1件です。3件の労働災害のうち、軽種馬産業におけるものは2件あり、その内訳はその他(馬扱い以外)2件です。

2 令和7年発生労働災害の事故の型について

令和7年の事故の型の上位は、激突され52件で32.1%、墜落・転落47件(2m以上からの墜落、転落3件、2m未満からの墜落、転落44件)で29.0%、転倒24件(滑り8件、つまづき5件、踏み外し1件、その他10件)で14.8%、はさまれ・巻き込まれ12件で7.4%、切れ・こすれ8件で4.9%、動作の反動・無理な動作8件(腰痛2件、転倒もどき2件、その他4件)で4.9%です。

その他事故の型の件数につきましては、下記表を御確認ください。

事故の型別統計(令和7年1月1日から同年12月31日まで)・令和8年2月末時点

	墜落、転落			転倒				激突	飛来、落下	激突され	はさまれ、巻き込まれ	切れ、こすれ	高温・低温の物との接触	感電	交通事故(道路)	動作の反動、無理な動作			その他	総計		
	2m以上から	2m未満から		滑り	つまづき	踏み外し	その他									腰痛	転倒もどき	その他				
件数	47	3	44	24	8	5	1	10	3	2	52	12	8	1	1	3	8	2	2	4	1	162
全体占有率	29.0%	1.9%	27.2%	14.8%	4.9%	3.1%	0.6%	6.2%	1.9%	1.2%	32.1%	7.4%	4.9%	0.6%	0.6%	1.9%	4.9%	1.2%	1.2%	2.5%	0.6%	100.0%

今月のコメント

3 令和7年発生労働災害のうち軽種馬産業にかかる災害内容について

令和7年に軽種馬産業において発生した106件の労働災害の内容の上位は、落馬33件で31.1%、蹴られた20件で18.9%、踏まれた15件で14.2%です。

その他の災害内容の件数につきましては、下記表を御確認ください。

災害の内容別統計(軽種馬産業)(令和7年1月1日から同年12月31日まで)・令和8年2月末時点






	落馬	蹴られた	引っ張られた	踏まれた	かまれた	馬とともに転倒	馬に押された	馬に激突された	脚立・はしご等からの落下	厩舎等からの落下	トラクター等による負傷	刈払い作業による負傷	牧草等の運搬作業による負傷	その他(馬扱い中)	その他(馬以外)	総計
件数	33	20	6	15	2	9	3	3	1	1	1	1	1	5	5	106
全体占有率	31.1%	18.9%	5.7%	14.2%	1.9%	8.5%	2.8%	2.8%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	4.7%	4.7%	100%

令和7年 死亡災害発生状況

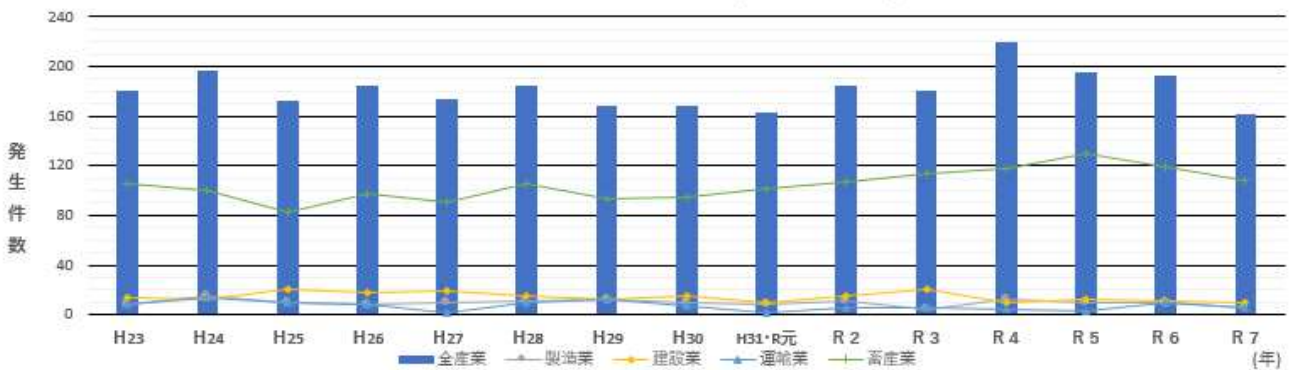
浦河労働基準監督署

件数	発生時刻	事業の種類	職種の種類	災害の種類	起因物	災害発生状況の概要
1	2月14時台	電気・ガス・水道業	作業員	墜落・転落	開口部	被災者は、同僚と2名で放水ダムの設備の点検作業に従事していた際、放水口制水門を開閉する巻き上げ機の取付け位置にある開口部を塞ぐ蓋板（重さ約30kg）の位置がずれていたため、2名で蓋の位置を調整しようとしたところ、蓋板の重みに引っ張られた被災者が開口部から10m以上墜落したものの。
2	11月15時台	自動車整備業	自動車整備工	激突され	その他の装置・設備	被災者は、馬運車のコンテナ部分である馬箱の補修作業に従事し、馬箱を馬運車から切り離し、馬の乗降用ゲートを持ち上げ、ゲートを角材で支えた状態で補修を行ったが、溶接作業を終了後、馬箱内の確認をしていたところ、何らかの理由で角材が転位し、ゲートが被災者に向かって倒れ、頭部に直撃したものの。

今後の取組で活用いただきたい情報が掲載された厚生労働省等のHPや資料のデータを以下のとおり紹介します。

資料名・関連サイト名、URL、2次元コード		
1	 浦河労働基準監督署からのお知らせ【北海道労働局HP】 https://jsite.mhlw.go.jp/hokkaido-roudoukyoku/news_topics/kantokusho_oshirase_00005_15.html	
2	北海道の労働災害統計【北海道労働局HP】 https://jsite.mhlw.go.jp/hokkaido-roudoukyoku/jirei_toukei/enzen_eisei/newsagai.html	
3	 建設業の労働災害防止について【北海道労働局HP】 https://jsite.mhlw.go.jp/hokkaido-roudoukyoku/hourei_seido_tetsuzuki/enzen_eisei/enzen-kankei/saigai/kennsetsugyousaigaiboushi.html	
4	STOP！熱中症 クールワークキャンペーン(職場における熱中症予防対策) https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000116133.html	
5	 労働安全衛生法及び作業環境測定法改正の主なポイントについて https://www.mhlw.go.jp/content/11300000/001513749.pdf	

浦河署管内における過去15年間の労働災害発生状況（休業4日以上）



年 別	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31・R元	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
全産業	180	197	172	184	174	184	168	169	163	185	180	220	196	193	162
製造業	8	15	9	8	10	11	12	9	8	11	4	12	10	9	6
建設業	14	13	20	18	19	15	12	15	10	15	21	10	12	11	9
運輸業	8	14	10	8	2	9	12	7	2	6	5	4	3	10	5
畜産業	105	100	82	97	90	106	94	95	101	107	114	118	130	119	108